

東急不動産ホールディングス株式会社が発行する
「サステナビリティ・ハイブリッド・ボンド」への投資について

朝日生命保険相互会社（社長：木村博紀、以下「当社」）は、このたび、ESG 投融資の一環として、2020年12月に東急不動産ホールディングス株式会社が発行する「サステナビリティボンド」（以下「本債券」）への投資を行いました。

「サステナビリティボンド」とは、調達資金の使途が、①環境改善効果があること（グリーン性）および、②社会的課題の解決に資するものであること（ソーシャル性）の双方を有する債券です。本債券は、国内初のサステナビリティボンド形式の公募劣後社債の発行事例となります。

株式会社東急不動産ホールディングスは、オフィスビルや商業施設等の開発・賃貸・運営やビル等の売却、マンション分譲や戸建販売に加え、管理や修繕工事等の事業を展開しています。

なお、本債券の発行にあたっては、ICMA（International Capital Market Association／国際資本市場協会）のグリーンボンド原則およびソーシャルボンド原則に即したサステナビリティファイナンス・フレームワークを策定し、日本格付研究所(JCR)より最上位評価である「SU 1 (F)」の評価を取得しています。

本債券への投資は、東京ポートシティ竹芝や（仮称）九段南一丁目プロジェクト等サステナビリティファイナンス・フレームワークの対象プロジェクトに係る支出の新規またはリファイナンス資金として充当されます。

朝日生命は、中期経営計画「TRY NEXT」において「一人ひとりの”生きる”を支える」というビジョンの下、第三分野商品を中心にお客様ニーズにお応えしていくこと、とりわけ介護保障の更なる普及に努めること等を通じて「社会に貢献し、お客様から信頼され、選ばれ続ける会社」となることを目指しています。資産運用においても、同様の理念を持ち、持続可能な社会の実現に貢献していくため、ESG 投融資への取組みを一層推進してまいります。

<本債券の概要>

債券名称：第2回利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債（劣後特約付）
（サステナビリティボンド）

発行総額：300億円

償還期限：2060年12月17日

（2030年12月17日以降発行体の裁量により繰上償還可能）

以上